

ともに生きる力を育む「子ども⇔地域」福祉学習プログラム教材貸出の紹介

福祉教育学習ガイド

Living together

The welfare education learning guide



Foster the power to live together



社会福祉法人須坂市社会福祉協議会

この事業は皆さまから寄せいただいた赤い羽根共同募金が主な財源です

2025年 R7

- 1 ページ 1 教材貸出しについて
各種体験教材の貸出しについて
- 2 ページ 2 出前体験講座について
開催までの流れ・申込方法
- 3 ページ 出前体験講座メニュー
- 4 ページ 3 活動費の補助金について
「社会福祉普及校指定事業」の活動費の補助金
- ※添付 福祉教育教材借用・教師等派遣申請書



「**持続可能**な社会の創り手」としてさまざまな課題に向き合い、大きく変化する社会の中で、多様な人々とともに未来を切り開いていくために、子どもたちに求められる力とは何か？

わたしたちを取り巻く現実の環境は**多様性**に満ちています。

いろいろな人たちがいて、いろいろなルーツをもっています。

多様性がすでに現実のものとしてある以上、具体的に共生社会を今後どうやって作っていくか。

多様性を学び、一人一人がさまざまな選択肢から自分の力で学んでいける力をつけることが必要。

大人たちは「自分の問題は自分で解決しろ」
「人には迷惑をかけるな」と言っていないか？

「自立」その意味も時代とともに変わる。

2000年代から、自立とは

「依存先を増やすこと」という考え方になってきた。
しんどい時はしんどいと言っていい。(相互現実的自立)

「助けて」と言えた日が助かった日。

人として「役割」がとても大事。

「支える、支えられる」という一方的な関係ではなく

「交互に支え合う」関係に。

対話、共感、時には葛藤が生まれる中で

「なぜ人は他者とともに生きるのか」

正解のない問いに向き合う。

他者と生きる喜びや感動を体験した子どもたちは、
簡単にその壁を乗り越えて行くかもしれない。

学校と地域が「育てたい子ども」を共有。

教えるのではなく一緒に学ぶ。

いろいろな立場の人たちがともに学び合う

過程を大切にすることが

福祉教育という共同実現。

1 教材貸出について

■貸出し教材一覧表（利用料無料）

| | | | | |
|------------------|--------|---|---|--|
| ボッチャ | 2 セット | 車いす | アイマスク |  |
| ゴールボール | 2 セット |  |  | 高齢者疑似体験 セット |
| 車いす | 25 台 | 白杖 | ゴールボール |  |
| 高齢者疑似セット | 11 セット |  | 点字器 |  |
| アイマスク | 40 ケ | ボッチャ | 視覚障がいシミュレーションレンズ |  |
| 白杖 | 20 本 |  | | |
| 点字器 | 40 セット | | | |
| 視覚障がいシミュレーションレンズ | 1 セット | | | |

■教材貸出について

ご予約

電話等で 希望の教材と日にちをお早めにご予約ください

申請

申請書提出 【様式第1号 福祉教育教材借用・講師等派遣申請書】

貸出

来訪 貸出日に須坂市社協までお越しください

返却

来訪 終了後、キズ・汚れ・破損等を確認し、ご返却ください

報告

報告書提出 【様式第2号 福祉教育教材借用・講師等派遣結果報告書】

申請書・報告書等の様式は、本会のホームページからダウンロードできます。
（各種事業の福祉教育について）



2 出前体験講座について（目的・ターゲットに合わせたプログラム作り）

福祉を題材とした「学び」のお手伝いをします。

皆さまのご相談に応じて、学校、地域などへの講師派遣や、お近くの協力者の紹介、体験先の紹介など、福祉を題材とした「学び」のプログラム作りをお手伝いします。

---開催までの流れ・申込方法---

ご相談
お申込み
(1.2ヶ月前)

① まずはどんな体験をしたいかご相談ください



体験したい内容、目的、メニュー、講師、教材等

申請書
ご提出
(P5 添付)

② 提案、一緒にプログラムを考えます



体験学習の目的
内容・実施日時・場所・参加者人数 の確認
事前学習・事後学習・ふりかえり学習について



申請書(P5 添付)のご提出

打合せ
下見

③ 各講師との事前打ち合わせ



会場下見・人数・当日のタイムスケジュール・進行について
事前の段取り確認
講師(講演会・講習会)の謝礼・交通費について

当日

④ 福祉体験教室の開催

会場づくり・講師受入準備



報告書
ご提出

⑤ 報告書の提出



(須坂市社協ホームページからダウンロードできます)

申請書・報告書等の様式は、本会のホームページからダウンロードできます。
(各種事業 福祉教育について)



パラリンピック スポーツ体験

- 車いすバスケ■ゴールボール
- ボッチャ■ブラインドサッカー
- パラ学 等



(90分～)

国際交流体験

- ・青年海外協力隊(jica)交流
- ・地域に住む外国人との交流
- ・海外の郷土料理作り
- ・異文化クイズ・体験講話



(90分～)

防災学習体験

- 避難所体験ゲーム■非常食体験
- 防災マップ■屋内での安全対策
- 健康生活支援講習



(90分～)

車いす体験

- 操作方法乗車■介助体験 等
- コミュニケーションの大切さ



(60分～90分・上限30名程度)

高齢者疑似体験

- 高齢者についての講話
- 疑似体験用具の装着
- 歩行・階段昇降・買物などの体験



(90分～・上限30名程度)

福祉学習

- 総合的な学習(探求)の時間
- 福祉学習導入講座(ふくしについて)
- キャリア教育(福祉のお仕事って?)
- フクシニア(職場体験と経済のしくみのアクティビティ 等)



早めにご相談ください(60分～90分)

聴覚障がい体験

- 聴こえないってどんなこと?
- 手話体験&交流



(60分～90分程度)

視覚障がい体験

- アイマスク体験■白杖体験
- 点字体験■視覚障がい



(60分～90分程度)

各種講演会

- パラスポーツメダリスト講演会 各種
- 車いすギタリスト講演 live
- LGBTの方の講演(ピアノ弾き語り)
- 時給10円移住生活 人とつながるシンガーソングライター 他



(およそ90分～) 早めにご相談ください

SDGs学習

- SDGs各種ワークショップ
 - ・『世界がもし100人の村だったら』
 - ・SDGsをゲームで学ぼう!各種 等
- (90分～)



その他

- 絵手紙・手芸・体験
- アイスブレイク10選!紹介講座
- 認知症の話し
- 施設訪問 (地元の施設の紹介や連携のお手伝いをします)



その他の体験、講座、講演など、お気軽にご相談ください!!



※講座により費用等がかかる場合があります。



■「社会福祉普及校指定事業」をご活用ください！！

社協では「社会福祉普及校指定事業」の推進のために、活動費の補助金交付を実施しています。

① 基礎補助金 10,000 円（全校交付→要申請）

② 加算補助金 40,000 円（上限）

審査のうえ、①+②合計50,000円以内で補助します。基礎補助金と合わせて申請してください。（社会福祉普及校指定事業補助金交付要綱 参照）

■補助金の申請をするには？

| 申請者 | | 社協より |
|--|---|--|
| 申請スケジュール | 提出書類(社協へ) | |
| 1 申請書の提出 5月16日(金)迄に ※5/16以降でもその都度交付。 ご相談ください。 | ・社会福祉普及校指定事業 補助金交付申請書(様式第1号) ・社会福祉普及校指定事業 活動計画書(様式第2号) | |
| | | ← 決定通知を送付 提出書類の審査後、本 会より送付します |
| 2 交付請求書の提出 | ・社会福祉普及校指定事業 補助金交付請求書(様式第3号) | |
| | | ← 補助金交付 交付予定日、決定交付 額の通知を本会より送 付します |
| 3 実績報告書の提出 (活動写真データ等) 3 月頃 行事終了後、または年度末ま でに提出をお願いします | ・社会福祉普及校指定事業 実績報告書(様式第4号) | |

※年度内の事業がまだ決まっていない場合は、基礎補助金 10,000円のみを〆切までにお申し込みください。年度途中での申請も随時受け付けますのでご相談ください。

申請書・報告書等の様式は、社協 HP からダウンロードできます。
 (各種事業の福祉教育について)



(様式第1号)

福祉教育教材借用・講師等派遣【申請書】

年 月 日

社会福祉法人須崎市社会福祉協議会 会長 様

申請団体名 _____

住所 〒 _____

電話 _____ / fax _____

e-mail _____

次のとおり申請します。

担当者 _____

| | | | |
|----------------------|------------------------------|--|------------------|
| 申請項目 | 教材借用 / 体験学習 / 講師等派遣 / その他() | | |
| 講座の名称 | | | |
| 目的・ねらい | | | |
| 対象者 | (人数 人) | | |
| 場所 | | | |
| 体験学習 講師等派遣 内 容 | ■開催日時 年 月 日 () : 分 ~ : | | |
| | 車いす体験 | ボッチャ体験 | |
| | 高齢者疑似体験 | パラスポーツ体験(その他) | |
| | 視覚障がい体験(手話等) | 国際交流 学習 | |
| | 聴覚障がい体験(アイマスク等) | SDGs 学習ワークショップ | |
| | 講演会 等 | 内容 | |
| | 防 災 学 習 各 種 | ヒナタ/防災MAP/炊き出し/クロスロード/屋内での安全対策 健康生活支援講習/ (他) | |
| | そ の 他 | 内容 | |
| (備考) | | | |
| 教材借用 | ■借用期間 年 月 日() ~ 月 日() | | |
| | 車いす | 台 | ボッチャ(2セットまで) セット |
| | 高齢者疑似体験セット | セット | ゴールボール(2ヶまで) 個 |
| | 白杖 | 本 | アイマスク 枚 |
| | 点字練習器 | セット | |
| 事前学習 | | | |

知る→気づく→自分事→どんな→行動

多様性 ダイバーシティ (diversity)

一人一人がお互いを認め、尊重し合う意識
自分とは異なる他者を受け入れ、よりちがった思考を取り入れていくこと
互いを受け入れ、価値観の違いを受け入れ、融合させ、し、アイデアを出し合う、多様性とはつまりこうした状況や文化、精神のあり方のこと

ともに生きる インクルーシブ (inclusive) ※包含的

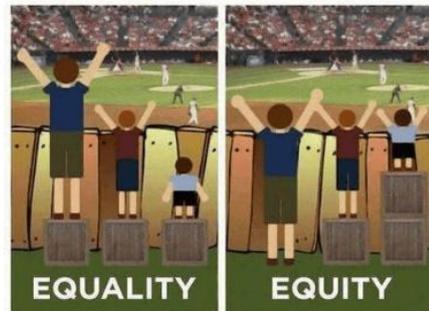
違いや個性を認め合って生活する、障がいのある人もない人もみんなが楽しめる。ともに相手の視点に立って物事を考える事が大切
自分の幸せもみんなの幸せも、同じように尊重し実現に向けていく

たとえば障がいのある人たちがみなさんにとってごく当たり前の生活を送るために、まわりの方々の助けが必要なこともあります。他の人よりもたくさんのサポートが必要です。

“特別扱い”ではなく、ほかの人にとっては当たり前の生活をみんなが同じように過ごすために“必要なこと”ということなのです(公平)

障がいのある人に優しい世の中は、一般の人たちにも優しい世の中です。そんな社会をみんなでつくっていきましょう。

”平等”と”公平”



平等

公平

未来 フューチャー (future)

AI(人工知能)をはじめとする技術革新、グローバル化、環境問題といった地球規模の課題など、未来を生きる子どもたちはさまざまなチャレンジが待っている
今自分のまわりのことだけでなく、未来のみんなや地球も今みたいに暮らせること



やってみよう♪
Try! Try!

社会福祉法人須坂市社会福祉協議会

助け合い起こし推進係 〒382-0074 長野県須坂市春木町 476-1

Tel/026-214-2994 fax/026-246-0054

E-mail : tasukeai@suzaka-shakyo.jp

2025年